

みんなの願いきれいな選挙



私たちの一票



第1号

平成15年11月28日発行

四日市市明るい選挙推進協議会

(諏訪町1-5・市選挙管理委員会事務局内)

明るい選挙機関紙



おもな
内容

2P

- ・表彰された高橋佳子会長
- ・「はたちのしおり」を手渡し

3P

- ・活動を全国へ紹介
- ・モデル地区一巡

4P

- ・明るい選挙を担うひとびと
- ・原稿を募集します

誕生日の新成人へ

「はたちのしおり」を手渡し

投票率アップのお手伝い

選挙の投票率は、年々下降線をたどっています。その中でも、特に二十代の有権者の投票率が低く、若者の政治に対する意識が希薄になってきています。

「はたちのしおり」を

手渡し

四日市市では、新成人に、二十歳を迎えられた誕生日に「はたちのしおり」をお渡ししています。

郵送すればすむことですが、あえて手渡しすることによって、有権者であることを自覚していただき、少しでも政治参加の必要性を考えるきっかけとなればと思っています。

投票は社会貢献の二つ

私も、社会貢献の一つとして、一人でも多く市民の声が政治に反映されるよう、投票率の

アップにつながる活動のお手伝いができればと思っています。

(富田地区 林 正雄)

東京・明推協の記念式典

高橋会長が 功労賞受賞

地道な努力の成果



高橋佳子会長

明るい選挙推進運動五十周年記念の式典が、昨年東京・

日比谷公会堂で、約千人が集まって開かれました。

席上、高橋佳子四日市市明るい選挙推進協議会会長が功労者として感謝状を受けました。

啓発のリーダーとして

昭和二十七年、明るい選挙推進運動が組織的に推進されて五十周年の節目を迎えました。

高橋佳子会長は、市の選挙啓発のリーダーとして会の先頭に立つたかわら、市民へはその目的と意義を説くなど地道な努力の積み重ねが大きな成果をあげたことが認められたものです。

ひとり二人の誇り

表彰者は、全国で七百五十七名、県下では、九名が受けました。

私たちは、高橋会長の栄ある表彰を機に、ひとり一人の誇りとして真しに受け止め、今後の推進活動に力をいれ、会の発展に尽くしたいものです。

先進地視察

宇治市を訪問

熱の入った質疑応答も

十四年度の先進地視察は、宇治市。

私たちは明推協の委員四十六名は、バスで宇治市役所を訪れました。

一行を代表して、高橋佳子明推協会長から、訪問のお礼をかね、本市のあらましを話しました。

宇治市明推協会長からは委員の委嘱者、任期や常時啓発など苦労話も含めての説明を聞き、熱のはいった質疑応答

を行いました。

研修後、源氏物語をテーマにした街づくりの中心施設「源氏物語ミュージアム」を見学しました。

光源氏が都で華やかに活躍した平安貴族の別業の地として注目をあびた様子が、映像と共に調度類も復元されて式部の世界に、しばしひたることが出来ました。

好天に恵まれ、紅葉も美しく、有意義な視察の一日でした。

第十五回統一地方選挙 標語入選作品

特選

あすの三重 あなたの一票 生かすとき

三重地区・山本 高三

入選

感じてください 一票の重み

一票に 希望をたくす 三重の道

この一票 あなたが拓く あすの三重

三重地区・山本 高三

この一票 政治参加の証です

ふるさとの あすをささえる この一票

無関心 やめて生かそう この一票

行きます 選びます あなたのまちを託す人

明日の三重 私とあなたの一票で

選ぼうよ 輝く三重を託す人

須崎 啓太
北浦 大基
谷口 洋二
橋本日出子
東 昭一
東 真弓
村上 司
藤室 高子



投票率65%を目標

36名で啓発活動

桜地区

桜地区は、地名が語るとおり昔から豊かな自然に恵まれ、環境庁から名水百選の認定を受けた智積養水をはじめ、一生吹山や鈴鹿山麓など、訪れる人々にやすらぎを与えております。

昭和四十八年桜台、桜ヶ丘昭和六十六年桜花台、平成二年桜新町と団地が建設され、世帯数五四〇一戸、人口一六六八二人、知事・県議会議員選挙時の有権者数一二六〇八人と市内でも有数の規模となっています。

明るい選挙推進協議会委員六名は、桜地区市民センターを基点に、友の会会員二十名（自治会長）諸団体の協力を得て、明るく正しい選挙（贈らない、求めない、受け取らない）運動、講演会、盆踊り等の地区行事に参加して啓発活動をしています。

高投票率をめざして

平成十五年、統一地方選挙における桜地区の投票率は、下表の通りです。

	市議選	県議選	知事選
桜	62.14%	60.58%	60.55%
桜 台	59.55%	59.72%	59.72%
全 市	57.57%	57.56%	57.57%

投票率65%以上を目標に、今後友の会会員のご協力を得て啓発活動を進めてまいりたいと考えています。

四日市市明るい選挙推進協議会の啓発状況について、ご報告します。

明るい選挙推進協議会の機関紙「私たちの広場」No.二四四、二四五（平成十年十一月号と十二月号）の二回、十五年にも全国で紹介されたことはみなさまもよくご存知の通りです。

四日市市の活動を

全国へ紹介

地道な努力が実を結ぶ
CTYテレビで放映

二本のビデオも完成

その頃から啓発ビデオ撮影が始められ「一人ひとりが主役です」と「みんなの組織みんなで活動」の二本各十八分が完成、機関紙と共に全国に紹介されました。

CTYテレビでも放映

一方、近鉄四日市駅前での街頭啓発や新成人への「はたちのしおり」の委員による直接配布の様子がCTYテレビでも放映され、日頃の活動ぶりを地域のみならず全国に知っていただきました。

私たちの活動は文字やビデオ、テレビ放映により全国に紹介され、努力が実を結んだものと喜んでいます。

モデル地区一巡大きな成果

二期目の活動を注目

明るい選挙の意識高揚をめざし、毎年二、三地区を「モデル地区」として選び、今年で九年目、ようやく二十三の市民センターを中心とする地区を一巡しました。

委員の新しい発想

モデル地区は、各地区の委員が相談しアイデアを出し合い、地域の特徴や新しい発想によって、講演会をはじめ選挙ポ

スターの募集、掲示物や啓発ビデオ撮影など、大きな成果をあげてきました。今後、第二期目の活動が注目され、期待されているところです。

竹製うちわの配布好評

大矢知地区

大矢知地区では七月二十六日に盆おどり大会がありました。はっぴ姿のかわいい保育園、幼稚園児からゆかたも涼しげな大人まで大勢が参加し大盛況でした。

たすきをかけて啓発活動

私たち明るい選挙推進委員は、その場で「たすき」をかけて啓発活動を行いました。これで選挙に関心を持ってもらい投票率アップにつながることを念じて、うちわ二〇〇枚をくばりました。竹製のうちわなので大変好評で三〇分程でなくなりました。

日本の将来を良くする

私たちの地道な啓発運動の積み重ねが近い将来、日本の国を良くするのだと大それた結果を夢に見つつ、満足して家路につきました。

四日市市明るい選挙

推進協議会 委員名簿

平成十五年八月十五日現在

四日市市明るい選挙推進協議会の各地区の委員の方々を紹介いたします。

〔中部〕

橋 進・北畠 裕子

北岡 泰一・西田實千代

岡田 一八・刑部 清子

〔富洲原〕

鈴木 稔・高橋 治

生川 玉雄・伊藤美代子

毛利けい子・伊藤 盛恵

〔富田〕

高橋 佳子・早川多津子

林 玄雄・渡辺 堯子

館 正子・林 正雄

荒木 暁美

〔羽津〕

山下 英・平田 伸子

山田 明美・伊藤 照巳

尾崎久美子・奥村 良美

〔常磐〕

諸岡 由実・戸谷 一男

清水 啓子・別所 春代

川村 憲一・堀 桂子

〔日永〕

谷 博・小松 泰敏

小林美千代・小林 幸子

浅川 弘子・落合みつ子

〔四郷〕

井上 敏夫・坂下 悦子

〔内部〕

藤田 重昭・田中 鈴子

瀬古由美子・三谷 百合

村口 繁則・富島 正昭

清水 芳則・土井 靖子

東川 満

古川とし子・加藤喜代子

粥川謹二郎・羽木 勝也

藤田 紀美・福島 泰子

平井 泰三

〔三重〕

山本 高三・中島 幹雄

宇佐美政生・野田 雅春

水谷 悦久・小島 正司

後藤 好孝・佐藤 剛

〔県〕

立石 善造・水谷 秀子

萩 義道・服部登代子

赤井眞知子

〔八郷〕

水野 昭男・野澤 礼子

三芳 清子・国政 卓治

石田 隆子

〔保々〕

原 美恵子・田中ひろえ

山川 晃雄・相馬 良則

斎藤さち子・堀 春代

〔海蔵〕

杉野 一三・児島あや子

春日部重代・館 智高

曾根美千代

〔橋北〕

山本江里子・眞野 雅彦

福森 辰明・坂崎 邦子

服部 富子

〔敬称略〕

明るい選挙を担うひとびと

〔下野〕

手賀 衛・豊田かつ子

井村 正一・野呂 崇典

山中 久恵

〔大矢知〕

藤井 博・三宅 恵子

林 純子・栗田 博

伊藤 清隆

〔河原田〕

山田真美子・今村 亘

鈴木 豊・大平さなえ

高橋 艶子

〔水沢〕

原 源昭・豊田 宗浩

豊田 早男・清水 道子

原稿募集



機関紙「私たちの一票」では、みなさま方からの原稿を募集します。俳句、短歌、川柳などの文芸ものや、選挙の標語を、市選管内「私たちの一票」係へご応募をお待ちします。みんなで作る、親しみのある機関紙にするため、ご協力をお願いします。

広報委員

編集委員長

萩 伸元（小山田）

編集委員

眞川 勇（桜）

鈴木 稔（富洲原）

高橋 佳子（富田）

田中 鈴子（内部）

三宅 恵子（大矢知）

山本 江里子（橋北）

あとがき

◎…会員の強い要望で、第一号を発行することが出来ました。全員が出席した編集会議も、意見を交換しつつ、紙名も広報委員一同で決めさせていただきました。

◎…発行には、選挙の事務局に大変お世話になりました。心より厚くお礼を申し上げます。

◎…今年は稲作が日照不足と低温で不作でした。選挙だけは天候や人に左右されず、「明るく、きれいで正しい」これまでもより一歩踏み込んだ啓発活動が求められます。

◎…機関紙「私たちの一票」が今後益々充実させ、私たちの投じる一票が確かな未来の訪れを祈つてやみません。